ひと花 新聞

第12号

平成26年7月1日
発行：NPO法人釜ヶ崎支援機構
ひと花センター
〒557-0016
大阪市西成区花園北
1-2-19
電話：06-6649-7890

一呼吸おいてひとから花へ花から花へ

こどもたちとたわむれて（遊）

六月一日、快晴で最高温もヨの真夏日。私達が参加してつくった ウォータースライダー アレも大人気で子供達の歓声であふれました。 良い想い出になりました。 ・エビキ

地域のお手伝い

発足から一年、地域のいろいろなとりくみに関わることができました。公園などの清掃活動、イベントのお手伝い、交差点の花壇の苗植え・・できることは少ないかもしれませんが地域のお手伝いを続けていきます。

『今宮工業高等学校 周辺清掃作業での想いさ記』（赤鬼）

また会えたね 自転車くん。
もう1ヶ月たつぬ、放置（ポーチ）されたまんま…
カゴにはゴミ一杯、錆も一杯、泥も一杯、26号線沿ひに接（セ）てら如し君よ
また会えるかな、でもさ、
会えない方がいいよ…ネ!!

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

私の健康法はカルシウム

張り若 ターシー

カタクチイワシ、チリメン。の2種をカルシウム少量の水分で電気釜でユデ上げ水分が少くなった所に砂糖と ニショウ口 をカロくえ水分が無くなったら白ゴマと黒ゴマを加え終了です。

♪♫♪♫♪♫

表現プログラム 散歩！書のワークショップ！詩の時間！

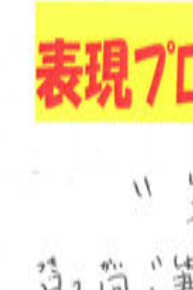
釣バカ日記③

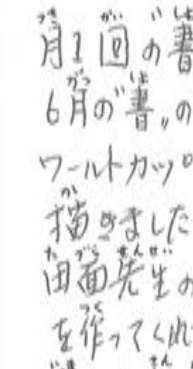
〃書のワークショップ〃

月1回の書の時間毎回楽しみです。
6月の〃書〃の時間は大きな筆で大きな紙に
ワールトカップにちなんで〃優勝〃と参加者全員で
描きました，何々見応えのある〃書〃になりました。
毎回先生の指導も参加者が書きやすい環境
を作ってくれて毎回楽しく書いています。
今まで参加されてない方も，初心者の方も次回は
参加されてはどうですか。

（吉岡）

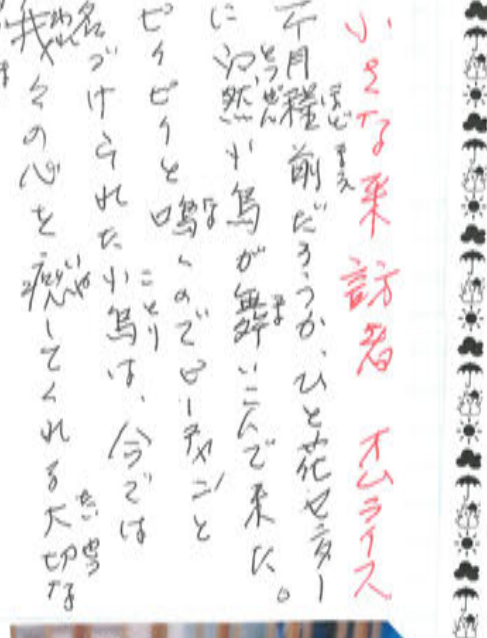
上田先生





（詩の時間）について私（岡本元晴）
人花センターが出来て，一年近くたちました。
いろいろある，行事の中で，詩の時間が
好きです。詩の時間と言うのは，事前に
連絡帳で，コールムを開いている。
上田さんと言う，美人の先生が，同じに
一回開いている集まりです。五月の集
まりには，ドイツのラジオ局の人が来て
皆にインタビューをしていました。題は
故郷の川です。懐かしそうに書いて
いました。詩を書くのが，好きな人，せひ
一度来て下さい。学のない人でも
大丈夫です。美人の先生が待っています。

小さな来訪者 オムライス



千円程前だろうか，ひとみ花センターに
突然一羽の鳥が舞いこんで
きた。
ピィピィと口ばしでドアをつつく
ので，ドアを開けてやると，今度は
名づけられない鳥は，今
我々の心を癒してくれる大切な
休日となっている。
ピーチクいつまでも元気でいて下さい。
そしてこれからも色々な鳥に
会いたいです。

稲妻のような獅子のような

レンズの中には，健さん自身が
意識しない健さんがそこにいた。
マキノは健さんにハマった。引く手
数多のマキノは昭和40年代の
あまたの女優さんの作品しか
撮っていない時期がある。マキノ
の晩年の輝きであり，健さんの
一番素晴らしい時代でもある。
それは観客にとってもまさに
「至福の空間」でもあった。もとく
健さんはなりたくてなった役者
稼業ではない。それは（つづく）

（A）

お師匠さんお願い申します

散歩の会!!
今三段!!
南海電車で粉浜へ。古い町並
に紀州・熊野街道が交差
する地蔵尊。
たまたま今日命日
だった生根神社
の大鳥大社の太鼓橋「反橋」が工事中
でした。今年のくれには
「紅一点」
山口諒さん出席

ソフトクリームをつに住吉大社へ
むかし遣唐使が大勢で向け出発
かなければ海上の安全を祈ったもの
住吉中神でもあった。万里の波濤を
乗りこえ大陸に渡るのは命がけだ
住吉大社の太鼓橋「反橋」が工事中
残念でした。今年のくれには
残念!!
陸奥さん・今回ゲスト有り
山口諒さん出席「紅一点」

ココルームでの就労体験（五ケ月目）

この年で（七十才）就労体験などとは
足を踏んだが。働いて見て
午前十時から三時頃まで。
料で食べます。だから三時頃ぐらい働き
ます。実質三時間ぐらい働きます。
の雰囲気の中で。まあいろいろな事が
おこります。バザーの準備。食事。食
器洗い。お客様への対応。それが実にお
もしろい。仕事の内容は。五名のスタッフが
優しく。時には厳しく仕事ぶりを評価
します。それが僕にとって。ストレ
ス解消の心の癒しになっています
まだまだ続けたいと思います（亀谷長寿）

しまなみ海道見聞録

伯方島は塩の島で大和撫の塩も伯方島の塩で一般家庭
の塩より水分多目の塩だそうです。伯方ビーチの塩アイスクリー
ムは火照った体には心地よくペダルも軽く感じました。
大三島橋を渡り、大三島に入る。村上水軍の古城の一つ甘崎の城
を海上に見ながら多々羅しまなみ公園で昼食に。海鮮定食
を食べ美味で波れが吹っ飛びました。
大三島は昨年一周しましたので今年は通過します。
大三島には、総本山大山祇神社が有り、楠の古木は有名です。
楠が一キロ近く続き壮観です。
多々羅大橋を渡り生口島に入る。サンセットビーチから眺める
ひょうたん島は、ひょうたんの形をした無人島で、島の中央部
を県境が走り、愛媛、広島の両県に分かれた島です。
二時に耕三寺に到着、東の日光、西の耕三寺と言われるほど
極彩色の山門は有名だそうです。
山門は日光の山門を真似て造ったそうで一見の価値有り。
日も傾き今日泊まる尾道を目指して生口橋を渡る。
次回は因島です。

（つづく）

（カズ池田）

つばめさん

又飛んできた　父の日に（夢人）

夕立や　物干しざおを　一人占め（池之辺）

父の日に　顔も浮かばぬ　遠い日さ（やな童）

タカラクジ　ゴオクゴセンデ　ハッピーダ（ターシー）

夕顔に　恋せし頃の　君偲ぶ（赤鬼）

黒い雲　雷がなり　大雨に（春乱）

梅雨入りは　いつの日からか　つゆ知らず（貴和心）

梅雨晴れに　アジサイの花　七変化（善人）